

コース42 ばんやさんしゅうかい 番屋山周回

リーダー CL E/S SL N/S
 実施日 令和元年11月3日(日)
 天候 晴れ後曇り グレード B上~C
 参加者 23人(男性10 女性13)
 コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		6:35	上信観光マイクロバス
道の駅漢学の里	7:20	7:35	休憩
吉ヶ平山荘	7:57	8:15	登山準備各自ストレッチ点呼後1班より出発
雨生ヶ池	8:50	9:00	池をバックに集合写真
番屋山山頂	10:25	11:00	時間に余裕があるので山頂でゆっくりと休憩
崩落の斜面	11:21		崩落の斜面多人数での通過は危険高巻きする
八十里越え 椿尾根	12:04	13:05	尾根の紅葉を見ながら昼休憩
吉ヶ平山荘	14:20	14:35	無事下山
道の駅漢学の里	15:05	15:25	いつもは閑散とだが今日は祝日大勢の人が
秋葉区役所前	16:10		予定より1時間早く到着

山行等概要(幹事のコメント)

- 何度山行リーダーしても悩むのが当時日の天候、今回も前々日にテレビの天気予報に傘マークがつき前日ネットで調べたら雨マークは23時からでお昼頃までは晴れマークなので実施する事にしました。
- 遅場集落から先の県道は狭く良く道交規制が有る為三条市役所前々日確認県道に問題なし。
- 今回のコース激下りがあるので各班に安全の為Dグレードの副班長を付けました。
- 新津から登山口までそんなに遠く無いのでユックリ歩きの山行を紅葉の頃計画しました。紅葉には丁度良く雨生ヶ池のブナの紅葉は神秘的な池に映り綺麗で此処で集合写真を撮り休憩します。その後も紅葉したブナの尾根道を木々の間からの池を見ながら歩き急登の始まる馬追沢すぐ先で休憩します。



- 30分くらいの今日1番の急な斜面をロープや木の根につかまり尾根に出ます。此処からは緩やかな尾根歩きで所々で見晴らしの効く左側から粟ヶ岳やその下に大谷ダム、粟ヶ岳からつながる川内山塊の山々を見ながら右に紅葉した林を見ながらの尾根歩きを楽しみます。



秋色のブナ林



雨生ヶ池

- バスが予定時間より30分早く着いたので当然山頂にも早く着き予定時間より多く休むことが出来ました。山頂で集合写真の後、新しく切り開かれた天保古道への道を歩きます。歩き難い道でロープにつかまり慎重に下山、天保古道を少し歩くと崩落地のトラバース多人数では危険なため高巻きをして下りは持参のロープを安全のため付けました。



粟ヶ岳、川内山塊の矢筈岳の眺望



1班のみなさん



2班のみなさん

- 天保古道、道は悪いですが紅葉の綺麗な時期で紅葉を堪能することが出来ました。八十里越えの樁尾根に着き、ここでゆっくり昼休憩の後、明治新道や天保古道、八十里越を歩き無事吉ヶ平に着く事が出来ました。



3班の皆さん



山頂からの激下り

- 心配したお天気も雨に降られることも無く綺麗な紅葉を見ながら天保時代に歩いた人達の事を忍び少しの距離でしたが古道を無事歩く事が出来ました。



天保古道の崩壊を高巻く



八十里越え

- 参加者の皆さん、各係の皆さんご協力ありがとうございました。

担当幹事のブログは

「ウズラの里山日記」ハイキングクラブで番屋山周回

https://ameblo.jp/hiking1315/entry-12542100752.html?frm_src=favoritemail